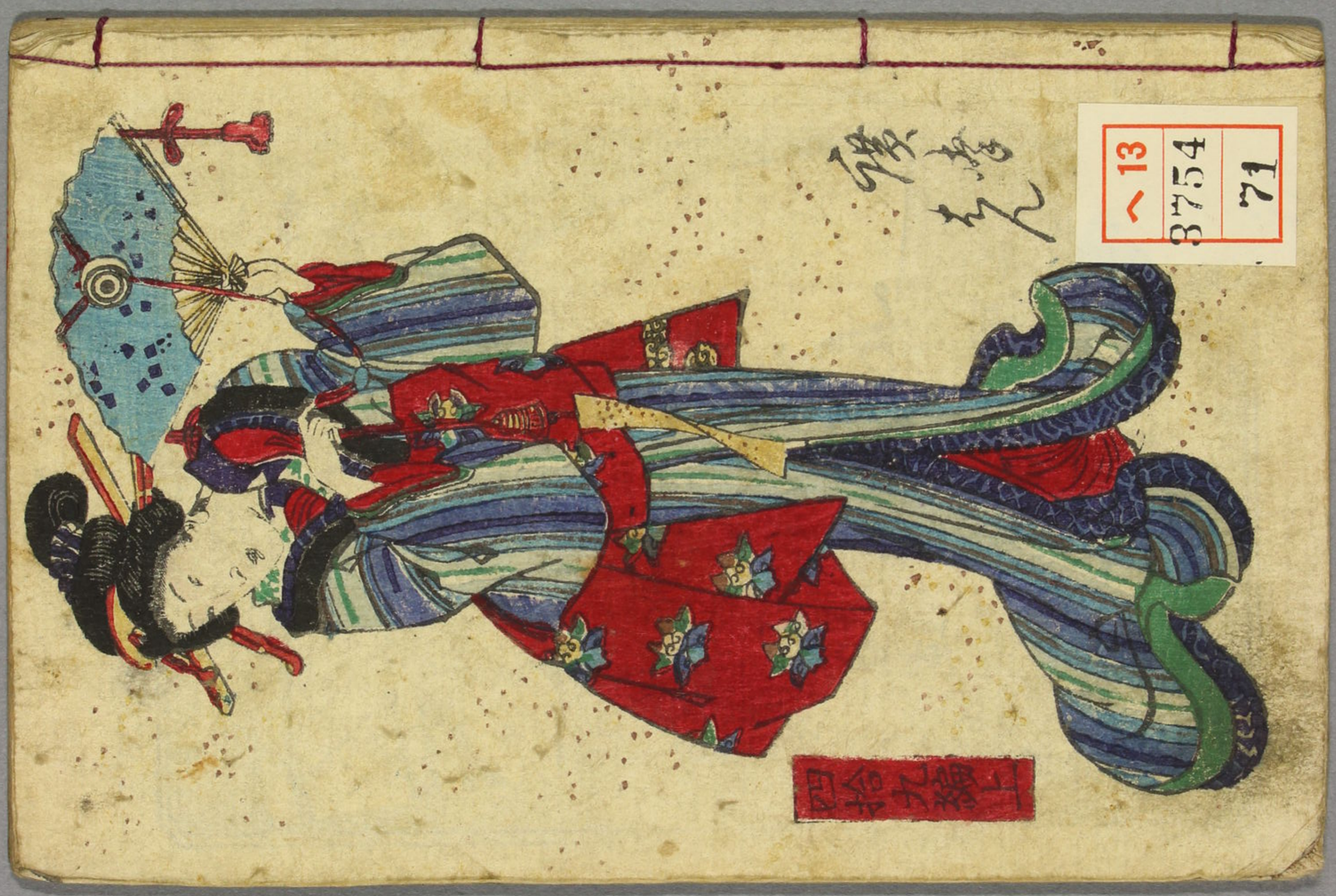

へ13
8754
71

門へ13
號 3754
巻 71

白縫譚

冊玖輯乾巻

種彦 著述 芳幾 畫圖

廣岡 文庫

酒宴の席に出まじき物猫小兒老婆とゆゑん古くより聞これどカブキ杜言草冊子等には貓は利物子役にがなくてハ歟場も膽にあらんに天神記の覚壽盛衰記の延壽は類律瓜なる婆々もいのれどお竈のゆゑ遣手の老込過分の役を引とる老人は老人を憐む情より發るはくのと我ながらその不安後悔されども改がたし七條河原二三張も画栄なしと但しも小言實老なるを親にせよと青表紙には有り知らず草冊子には杉子定規お多賀の神の御守護に長命せるハ云ましけれど老込と云迹懐ハ拙著の訓誘にいらうに勝りて塞げど聞くいる光顧にのるはを憑まに筆をとるまぞ

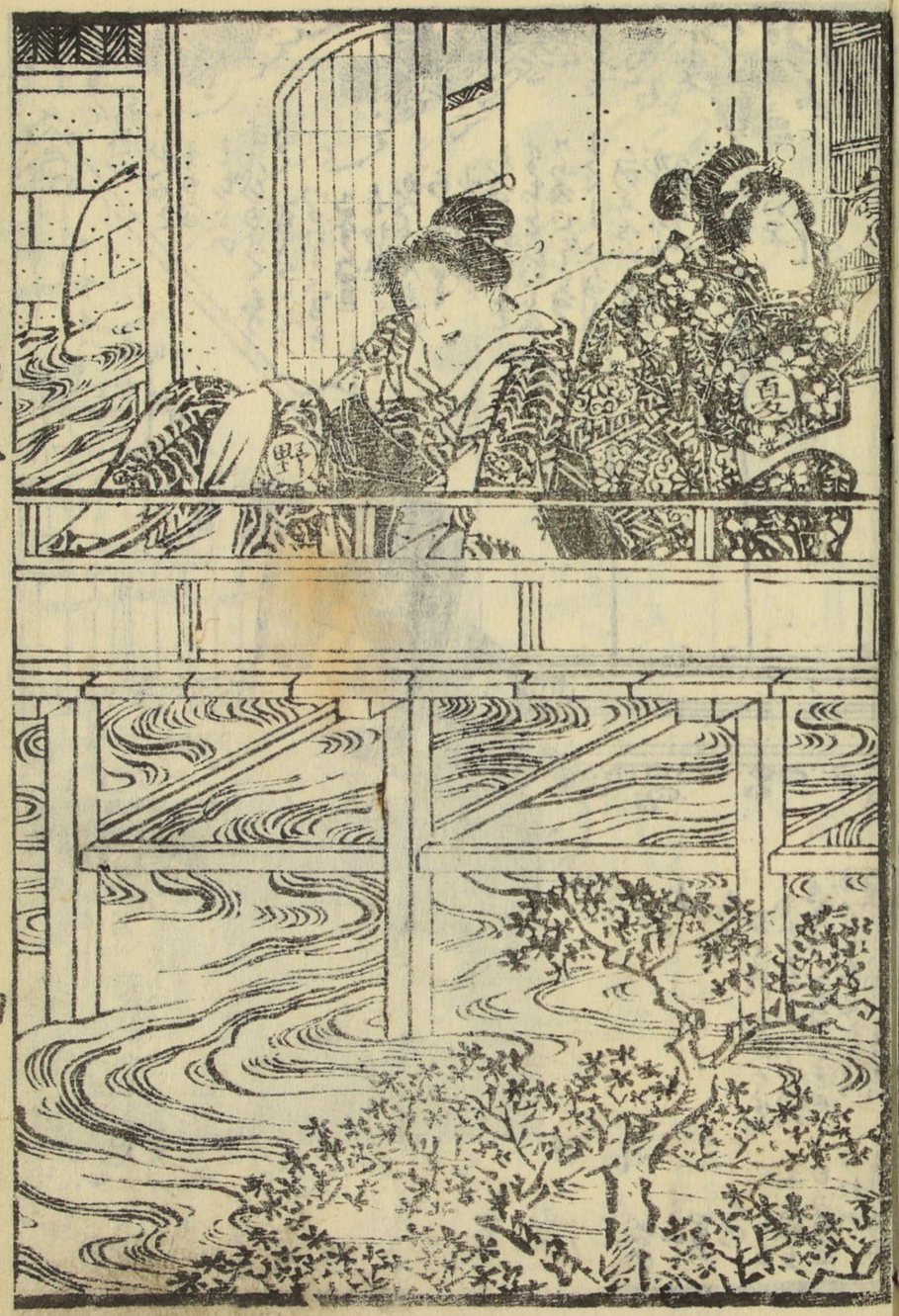
慶應二年首夏

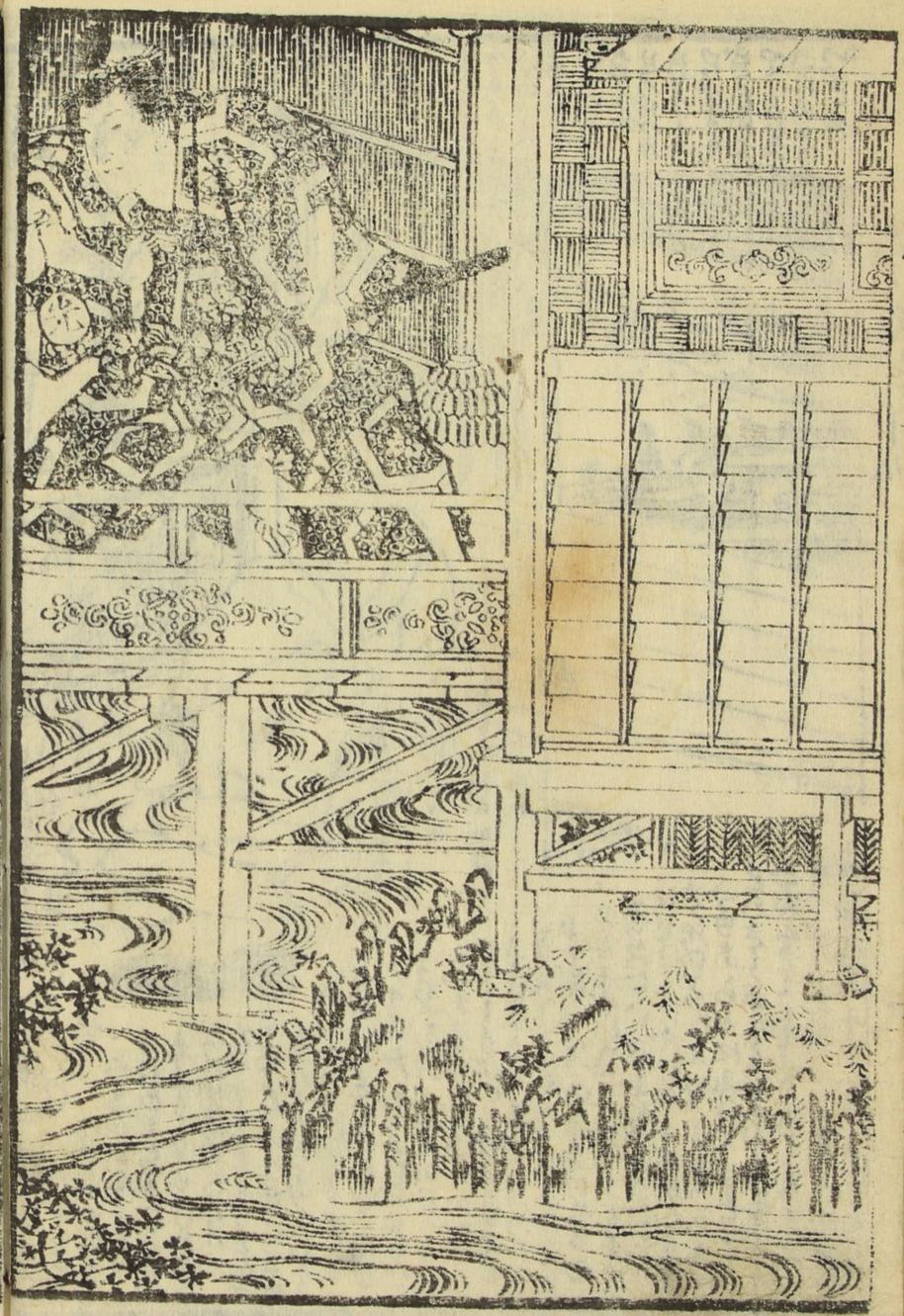
柳亭種彦

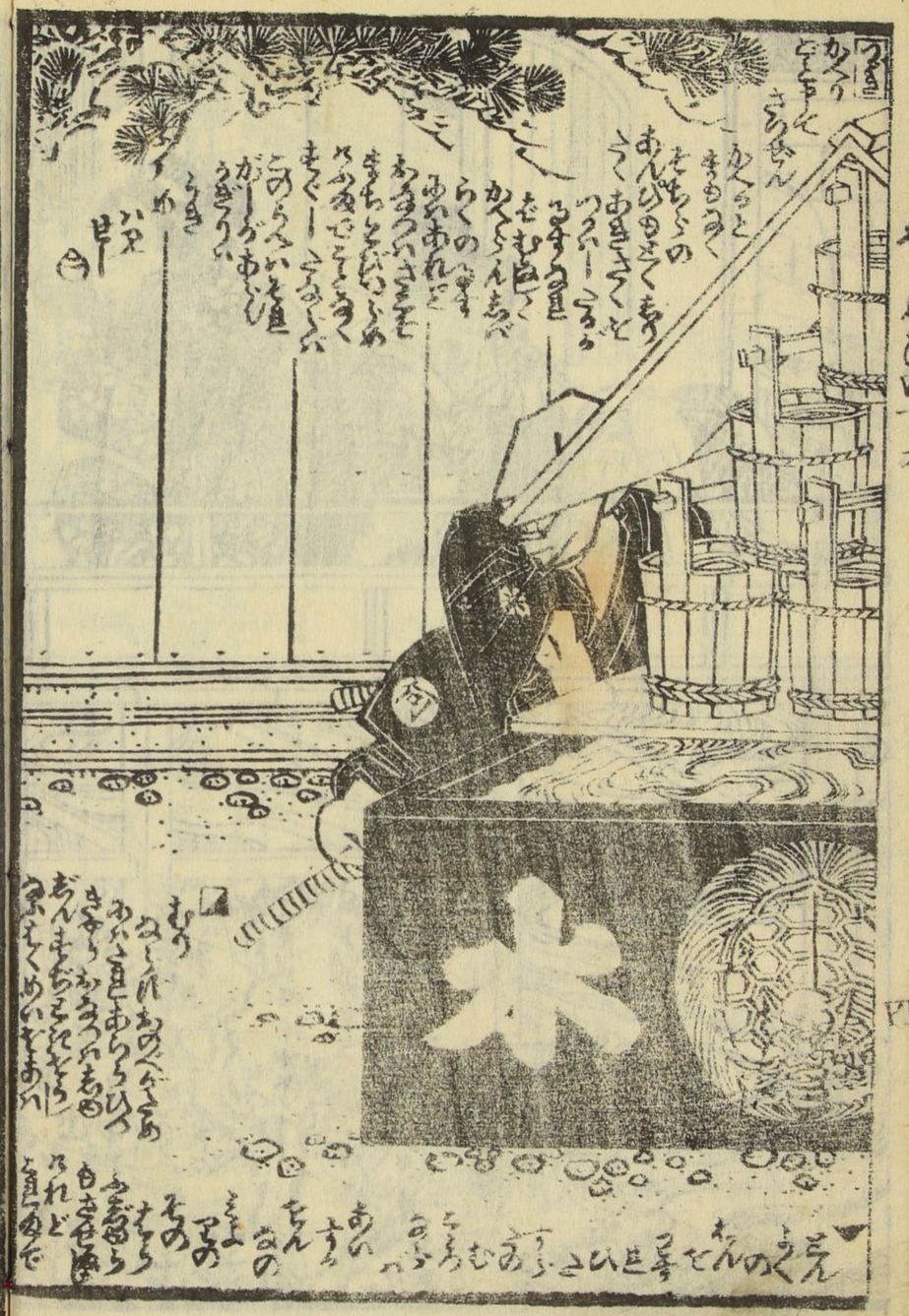
青柳春之助

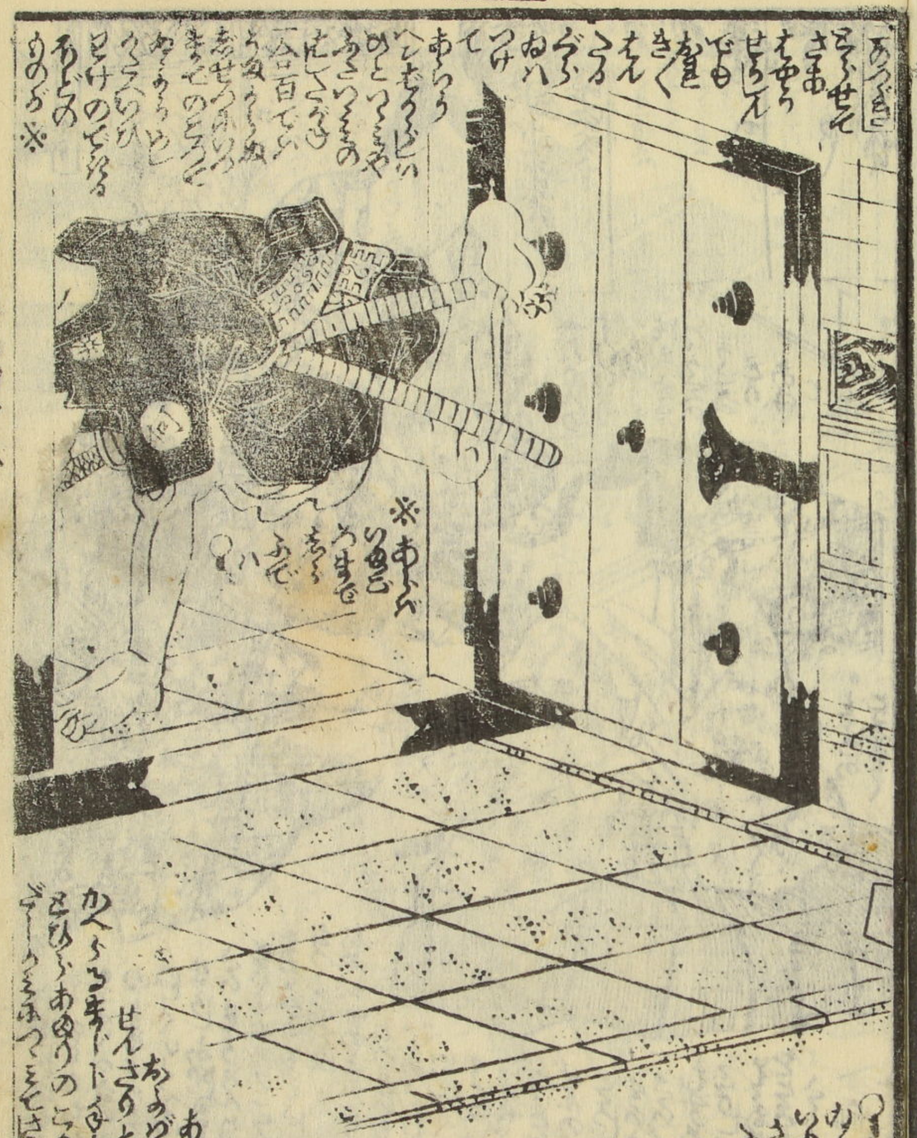
遊女連山

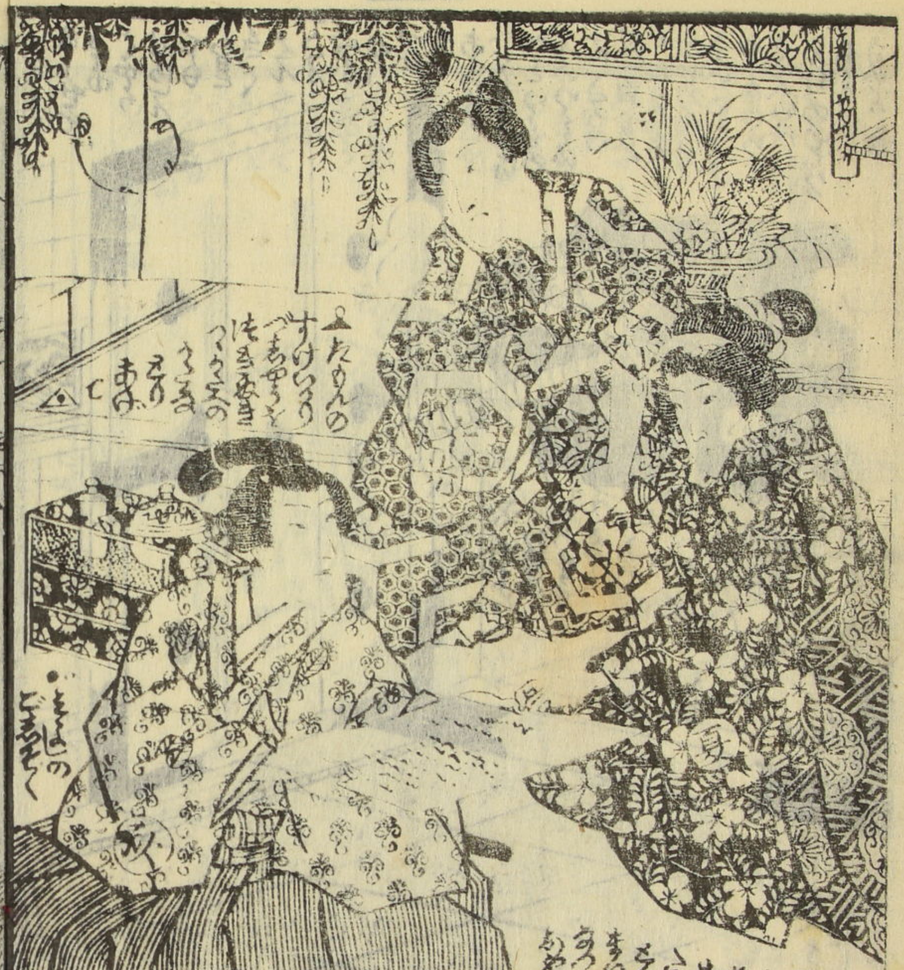
寿捨
延命地蔵
宝則

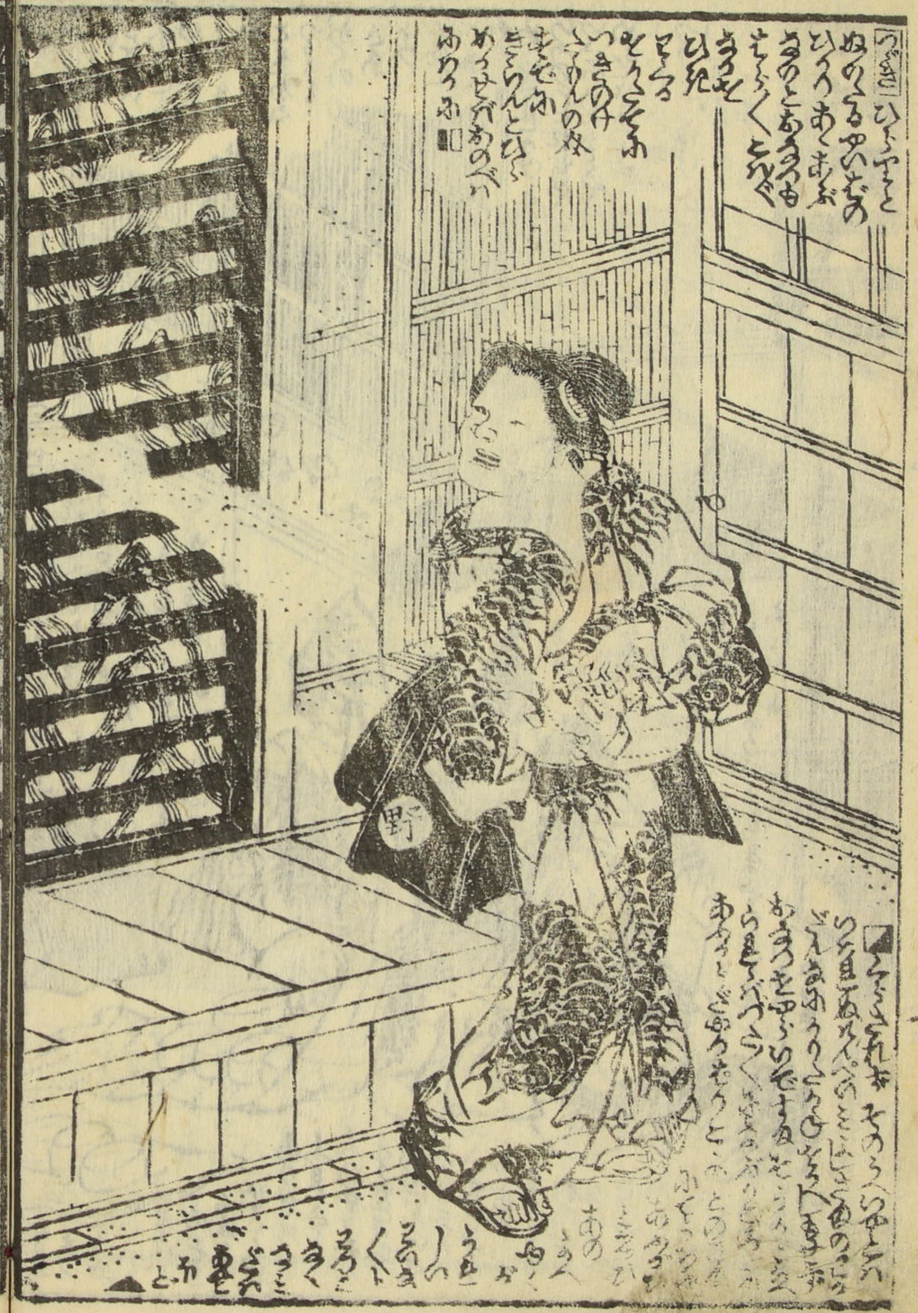


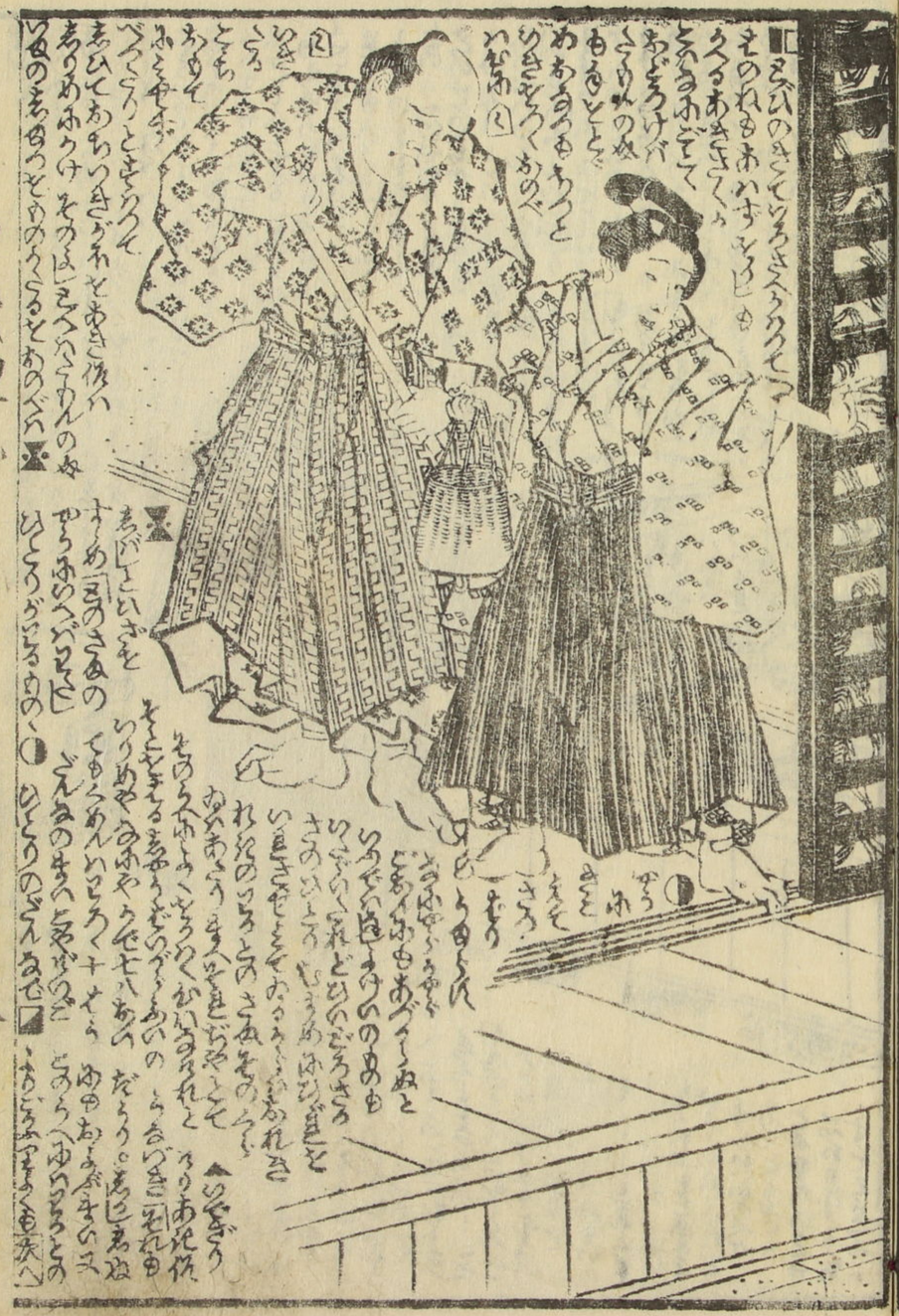


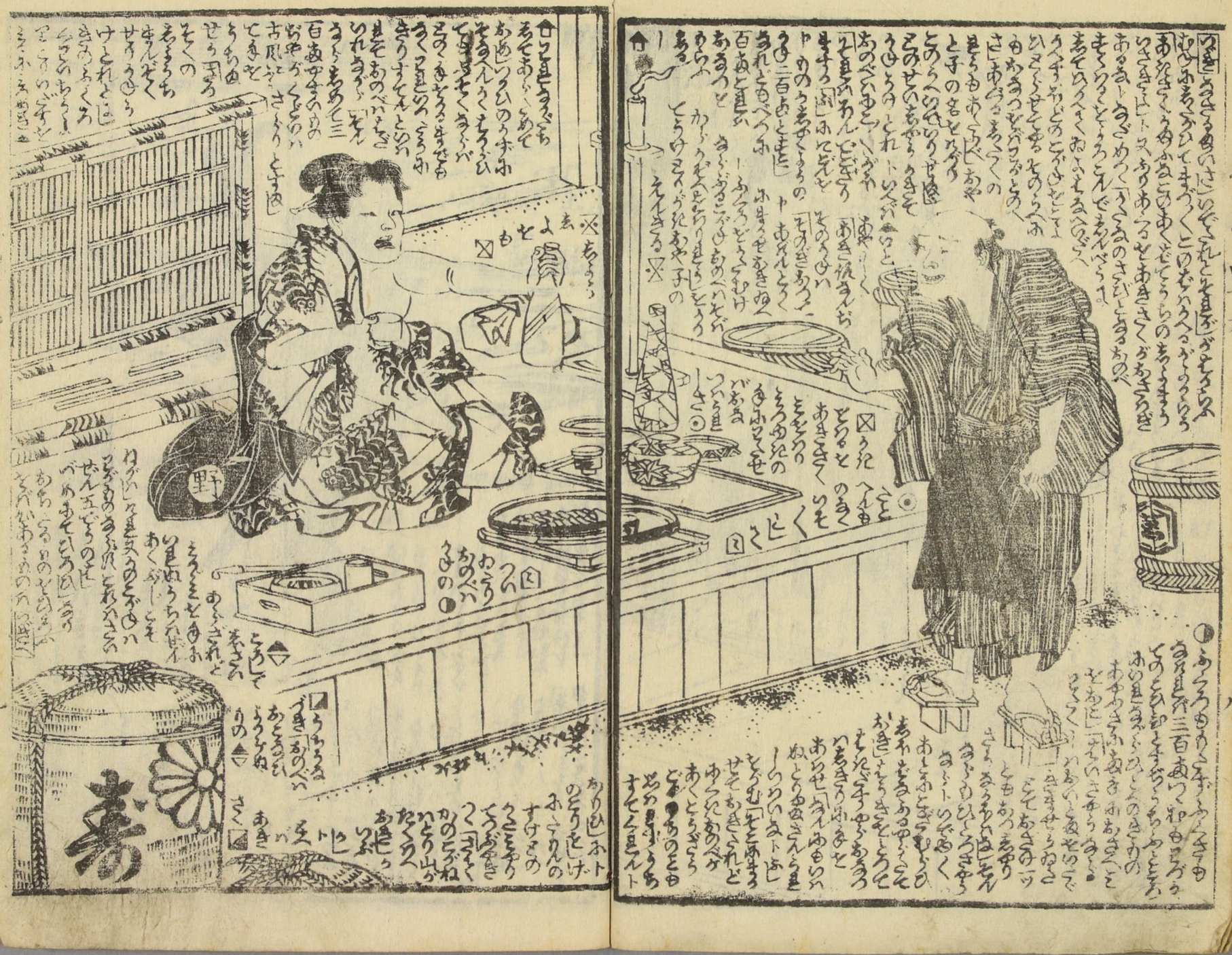







野





[illegible]

[illegible]

志ノ[illegible]ゆ潭

兩面織花田物語

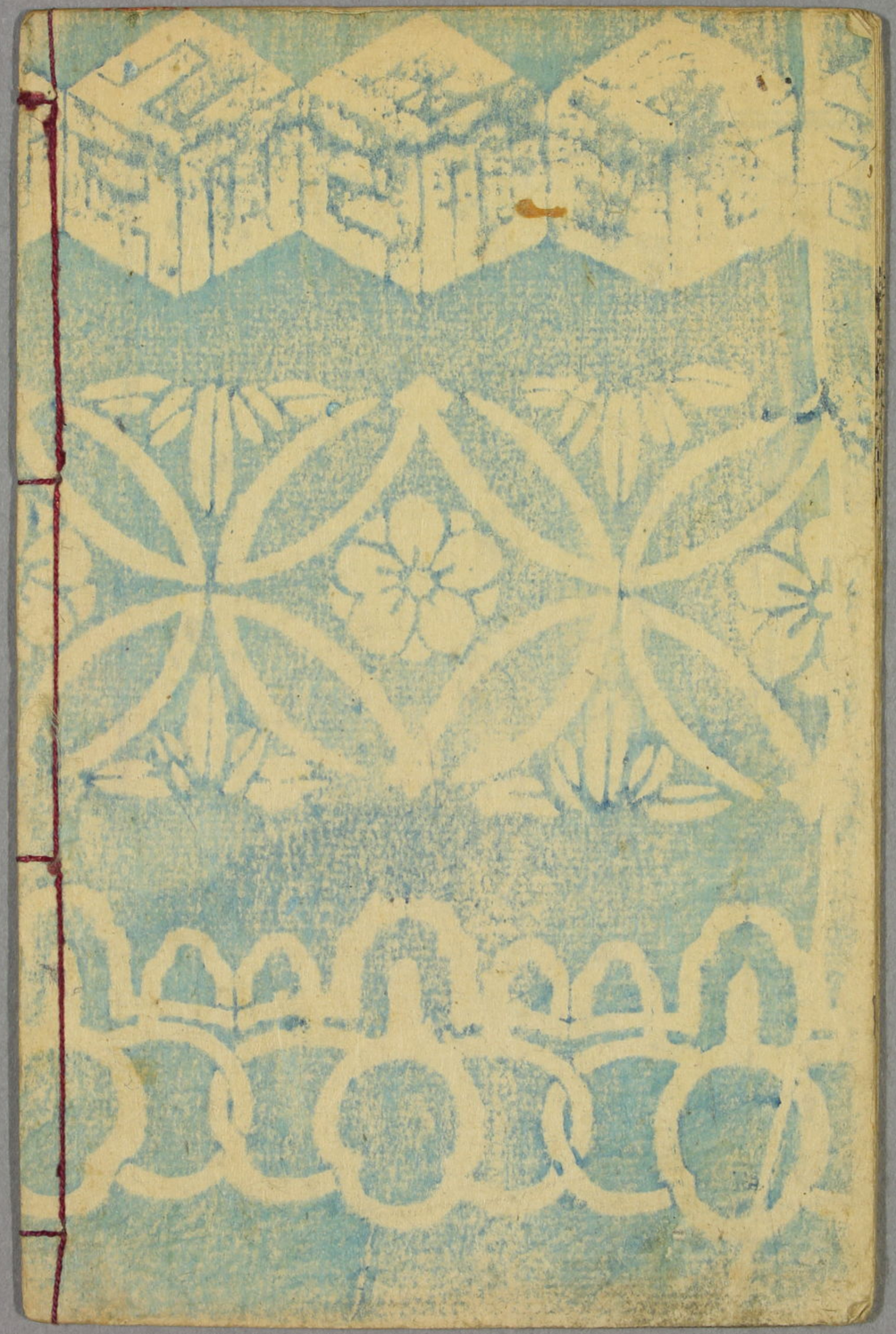
假名漢八犬傳

古今能[illegible]似顔大全

故豊國翁筆

大錦 白二番

太平記英勇傳

中 錦山々亭有人記

百番續 惠齋芳幾圖